

ハートパル

2015年
8月
159号



なぜ防災の現場に『男女共同参画』が必要なの？

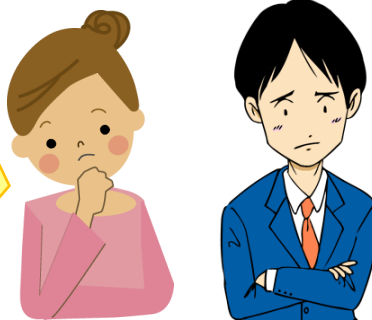
近年、地域においては、高齢化・過疎化の進行、人間関係の希薄化や単身世帯の増加等の様々な変化が生じており、男女が共に担わないと立ち行かなくなる状況となっています。

過去の災害対応における経験では、増大した家庭的責任が女性に集中することなどの問題が明らかになっており、防災（復興）の取組を進めるに当たっては、男女のニーズの違いを把握し、男女共同参画の視点を取り入れた防災（復興）体制を確立していく必要があります。

- ・女性、ベビー用救援物資の不足
- ・授乳や着替えのスペース
- ・トイレ ・避難所の仕切り
- ・洗濯物干し場の確保 等

「女性」「嫁」という役割への囚われから、避難所での食事の準備や清掃等を割り振られたり、震災同居により大家族で求められた「嫁」の役割など、女性たちを苦しめました。

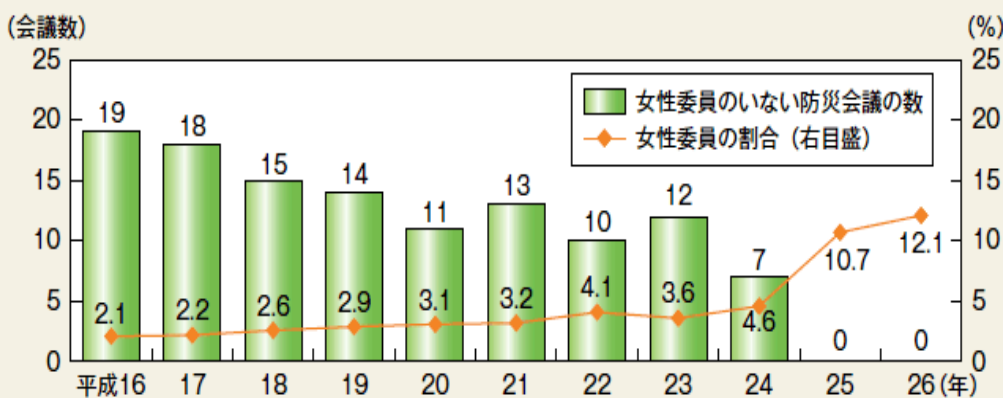
過去の災害で顕在化した男女共同参画の問題点



- ・男性の閉じこもり化
- ・アルコール依存

「男性」「長男」という役割への囚われから、自分自身を追い詰めたり、DVや離婚問題などの相談も増加しました。

1-7-1 図 都道府県防災会議数と委員に占める女性割合の推移



女性委員のいない都道府県防災会議の数が25年に始めてゼロとなりました！



(備考) 1. 内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の進捗状況」より作成。
2. 原則として各年4月1日現在。

表：内閣府「平成27年度版男女共同参画白書」より

これからの防災・減災・復興の仕組みや組織づくりには、男女共同参画の視点が必要です。女性自らが地域の担い手となって活躍できるように、平常時から人材育成と男女共同参画の視点に立った組織づくりを進めていきましょう。

講座報告



8月8日(土)に、ハートパルの恒例企画「パパといっしょに簡単クッキング」を開催しました。

今回はタコライスとコンソメスープとパリパリバナナに挑戦！タコライス作りでの野菜のみじん切りでは、親子で苦戦しながら取り組みました。



「家では全く料理はしません。」というパパもいましたが、予想以上の出来栄えにパパ達も子ども達も大満足の仕上がりになりました。思った以上に簡単なコンソメスープや超簡単デザートのパリパリバナナは、お家での定番メニューになりそうです♪

慣れない作業を父子で協力しながら時間内に完成させることができ、お料理に自信を持っていただけたのではないのでしょうか。

今回の講座をきっかけに、パパと子ども達がクッキングの他にも掃除や洗濯などに挑戦して、ママとの家事分担の機会がもっと増えていくといいですね。



参加者の感想

- ◆子どもと接する機会が少ないので、良い経験でした。
- ◆また子どもと一緒にママに料理を作りたいです。
- ◆思った以上に子どもが料理できたので頼もしかった。
- ◆父子イベント楽しかったです。

男女共同参画についてどう思いますか？(パパのアンケート回答)

- 共働きが増えて家事を男性がすることが増えています。夫婦で同じく仕事をしているので家事をシェアするのは普通のことだと思います。
- 女性の前に、男性の育児休暇などを取りやすい環境を作るべきだと思う。
これにより女性の職場への早期復帰に繋がると思う。女性より男性の意識改革が必要です。
- お互いに楽しい世の中になっていければ良いなと思います。
そのためには、多様性を持って何事にも取り組んでいき、家庭に、地域にと出ていきたいと思う。
- 現状の生活では、共同して子育てしないと厳しいと思っています。
- 自然なことだと思います。



女性のための 相談室

無 料
秘密厳守

- ・電話相談
 - ・面接相談(できれば事前にお電話を。)
 - ・月曜～金曜 午前9時～午後5時
- ※ 電話番号は下記のとおり

《 連絡先・問合せ先 》 大村市男女共同参画推進センター「ハートパル」

〒856-0825

大村市西三城町8番地 総合福祉センター3階

TEL: 0957-54-8715 Fax: 0957-54-8700

Eメール: danjyo-s@city.omura.lg.jp

利用時間 9:00～22:00

問合せ時間 8:30～17:30

(年末年始は休館)